



# Weekly Report

VOL. 45

本日のプログラム	8月1日 (2122回)	次回のプログラム	8月8日
「 会員増強について 」	藤井 輝男 会員	「 RYLA研修セミナーに参加して 」	RYLA 受講生 宇崎 聡太 様

2018年 7月25日(水) 第4例会  
 ~体操~

1. ソング 「 尼崎東ロータリークラブの歌 」

2. ビジター紹介

本日のスピーカー

(地区青壮年奉仕委員会 RYLA 担当) 田中賢一 氏  
 (伊丹RC)

(尼崎南RC) 越智 有一 氏

3. 出席報告

会員数 44名 出席数 32名  
 出席率 76.19% 前々回補正 95.45%

【本日の欠席】

萬寿・松岡・安藤・浜田・平野・越賀・的場・中井・  
 三田・杉浦・高山・吉田 各会員

【補填】7/11

安藤・近・小畑・安田 各会員

4. 会 食

5. 会長の時間

.....—鷹の選択.....

クラブアッセンブリーも終わり、本日から各事業が始まります。スタートに先立ち今日は、長生きするために「鷹という鳥」が自ら「選択」し、課す「試練」そして「変革」していく様子をご覧になっていただきます。私達にとって何かの参考になれば幸いです。

以下ビデオの内容説明。



(丸尾研一PDG Produced by かつちやけ製作所)

鷹は長生きできる鳥としてよく知られています。鷹は最高70年は生きると言われていますが、このように長生きするためには、約40年過ぎた時に重要な決断をしなければなりません。

鷹は40歳になると爪が弱くなり獲物がうまくとれなくなります。くちばしも長く曲がり、旨につくようになります。羽も重くなり、徐々に飛べなくなります。ここで鷹は2つの「選択」に置かれます。

このまま死ぬ時期を待つのか、それとも苦しい自分探しの旅に出るのか。

自分の変化の道を選んだ鷹は、まず山の頂上に行き巣を作ります。その後鷹はとても苦しい幾つかの事をやり始めます。まずくちばしを岩で叩き壊し無くします。そうすると新しいくちばしが出てきます。それから出てたくちばしで爪を1枚ずつ剥ぎ取ります。そして新しい爪が生えてくると羽を1本ずつ抜きます。

こうして半年が過ぎ新しい羽が生えてきた鷹は、新しい姿に変わります。そしてまた空に高く飛び上がり、残りの30年間を生きていきます。





\* 「孤独なる 汝白百合 ごと香れ 」  
「 渾身の 笛やみて 能果つる 」  
「 炎昼の 青田に鷺の 影一つ」  
..... 田村

\*小坂様「しゃくなげ子供の家」の落語会に  
お暑い中ご出席誠にありがとうございました。  
..... 田中 (俊)

\*所用のため早退します。  
..... 久保

\*伊丹ロータリークラブ田中様、本日の卓話よろしく  
お願いいたします。  
..... 藤井(秀)・藤井(輝)・石本・磯田・川口・  
喜多・小坂・松本・森・中西・中田・西川・  
小畑・小野・齊藤・武部・滝口・梅崎・  
渡部・山中・安田

本日の金額            31,000円  
累        計            253,800円

10. スピーチ



「 RYLA(ライラ)について 」  
地区 青少年奉仕委員会 RYLA 担当  
(伊丹RC) 田中賢一 氏



青少年指導者育成セミナー

RYLAは1960年5月オーストラリア・クイーンズランド州で発祥し、1971年に国際ロータリーによって正式に採用されたプログラムで、現在ではロータリーのプログラムの中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムのひとつとなっています。

< RYLAセミナー >

1. RYLAセミナーの設立理念  
才能豊かな若者たちが、楽しみ、友人を作りながら、責務と人間関係の問題について討議し、指導力と伝達力を磨き、ロータリアンとの関係を通じて効果的で自発性に富む指導法を身につけよう、激励、援助することを主な目的としています。  
\* 将来のリーダーを育てるための開催  
\* 福祉関係で働く人、学生、RAC、ロータリアンのご子息・従業員  
\* いい若者が多い  
\* 2680 地区と 2670 地区が共同開催
  
2. 3泊4日で開催されることの意味  
まさに若者を育てお互いをたかめあうということに趣旨がある。  
阪神大震災の祭、こういう時期だからこそ、セミナーの価値を高め、復興の先頭に立つリーダーにならなければならない。
  
3. RYLAセミナーの特色  
趣旨  
「お互いの親睦を深め、人間的に高め合う事を旨とする」  
親睦から始まる。  
まさに我々ロータリアンにも同じ事が求められる。  
① グループタイム(親睦の熟成)  
② 自由と規律  
③ 高いレベルの抗議と議論  
④ カウンセラーシステム  
⑤ 余島の自然
  
4. ロータリーの集い  
ロータリアンにとってのRYLAセミナー  
セミナーの趣旨は我々ロータリアンにもあてはまる  
各キャビンで同年代のロータリアンや先輩ロータリアンと心ゆくまで話ができる。
  
5. 課題  
受講生の意識の差  
この体験を広げる、あるいは各ロータリークラブに還元する。  
受講生(学友)をクラブで大事にする
  
6. 意味  
人が成長するには、人との交わりでしかない。  
ライラセミナーが考えるリーダーとは「一隅を照らす」  
「このセミナーで受講生は変わりましたか」